

2021年1月13日

株式会社オヤノコトネット

コロナで帰省できない! 離れて暮らす親のことどうする?

コロナで帰省できない! 子の不安は親の認知症、フレイル、コロナ感染

『離れて暮らす親の見守りサービス』

象印マホービン・日立グローバルライフソリューションズの無料お試しキャンペーンを実施中

高齢期を迎えた親とその子世代のためのお役立ち情報とソリューション事業を展開する株式会社オヤノコトネット（東京都新宿区 代表取締役：大澤 尚宏）は2020年11月に20～60代の男女500名にアンケート調査をおこなった結果、コロナをきっかけに帰省がままならない状況から、親に電話をするという人が増えたことがわかった。

また、コロナで外出や人と会う機会が減ったことから、①認知症を発症しないか②フレイル（虚弱）にならないか③買い物などに出た際にコロナに感染しないか、を不安に感じていることも見えてきた。

そこで、同社では、離れて暮らしている親の見守りサービスを提供する、象印マホービン株式会社、日立グローバルライフソリューションズ株式会社とタイアップして、各社が展開している見守りサービスの「オヤノコト」限定企画「無料お試しキャンペーン」をスタートしている。

この企画は、「オヤノコト」会員対象(新規登録でも可)に、象印マホービン株式会社はポットの使用状況を子どものスマホに送信するサービス、「みまもりほっとライン」を2カ月間無料でお試しできるほか、日立グローバルライフソリューションズ株式会社は独自の「活動センサー」でさりげなく親の様子が確認できる、見守りサービス『ドシテル』を初回設置料・利用料無料、2か月目以降も利用を継続したい場合、通常の利用料より割引価格で利用することができるという。

介護離職が年間10万名となってる今、親の介護を会社に言い出せないまま勤め続ける「隠れ介護」が1,000万人を超えているとも言われている。

同社では、今後も増え続けるといわれる介護離職の抑制やワークライフバランスの実現をめざすと共に、親が元気なうちから「見守りサービス」などを活用して、積極的に家族でコミュニケーションを取ってほしいという意図もあり、2社とタイアップして今回のお試しキャンペーンを展開している。

▼ポットで見守る「みまもりほっとライン」

▼活動センサーで親の様子を見守る「ドシテル」



<本件に関するお問い合わせ>

株式会社オヤノコトネット 担当：馬場

TEL 03-6265-0404 / FAX 03-6265-0403 / mail: press@oyanokoto-net.co.jp

キャンペーンはオヤノコト.net(<https://www.oyanokoto.net/>)にて告知中!

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-6-4 エアマンズビル市ヶ谷1階